

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和7年第27週(ARIのみ第26週)の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (27 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 例、梅毒 6 例、百日咳 41 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	結核性リンパ節炎	その他
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	0~4歳	女	—	腹痛、水様性下痢、O157(VT2)
4類	レジオネラ症	日南	80歳代	女	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎、その他
5類	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症	延岡	70歳代	男	—	その他
		宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	20歳代		男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹	
	20歳代		女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹	
	20歳代		女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、梅毒性バラ疹	
	都城	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし	
延岡	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹		

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群					症状	
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	30歳代		40歳代
5類	百日咳	宮崎市	16例		4	9	1		2	持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、スタックート、嘔吐
		都城	17例	5	5	6		1		
		延岡	2例		2					
		小林	1例					1		
		高鍋	3例		1	2				
		日向	1例		1					
		中央	1例			1				

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・第27週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は342人(定点当たり21.3)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘であった。また、第26週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,172人(定点当たり41.9)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。

#### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は50人(3.3)で、前週比89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.5)の約1.3倍であった。年齢群別は5歳から8歳が全体の約半数を占めた。

#### 【感染性胃腸炎】

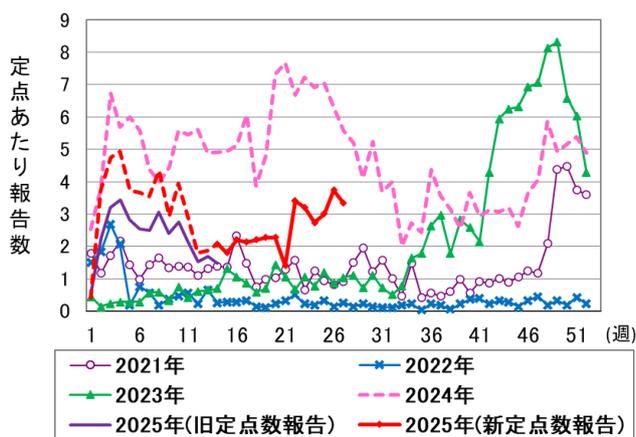
報告数は126人(8.4)で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(7.2)の約1.2倍であった。年齢群別は1歳から3歳が全体の約3割を占めた。

#### 【伝染性紅斑】

報告数は30人(2.0)で、前週比130%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.5)の約4.3倍であった。年齢群別は3歳から7歳が全体の約7割を占めた。

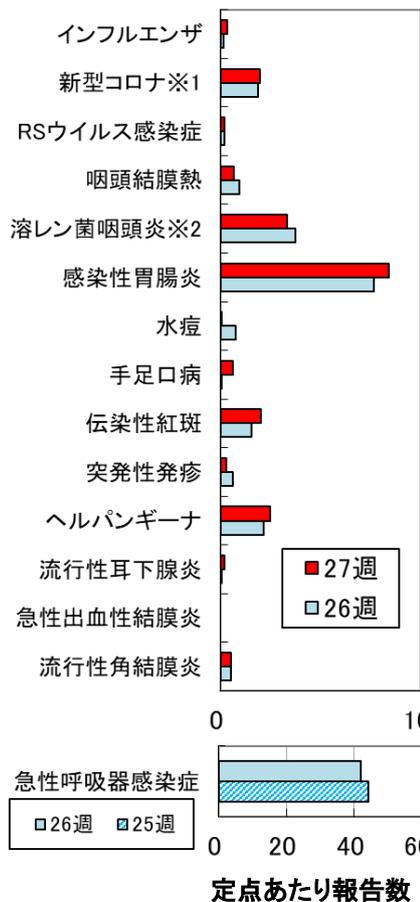
\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の  
1 当該週、前週、後週(計15週)の平均値

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、  
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

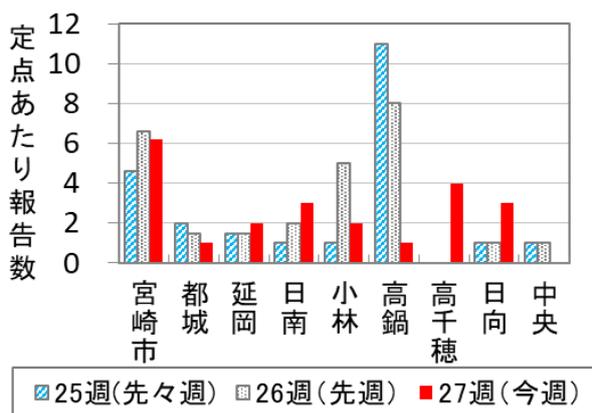
### 《前週との比較》



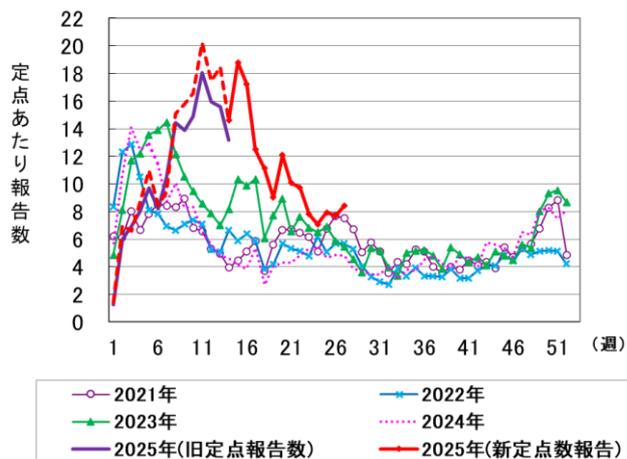
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

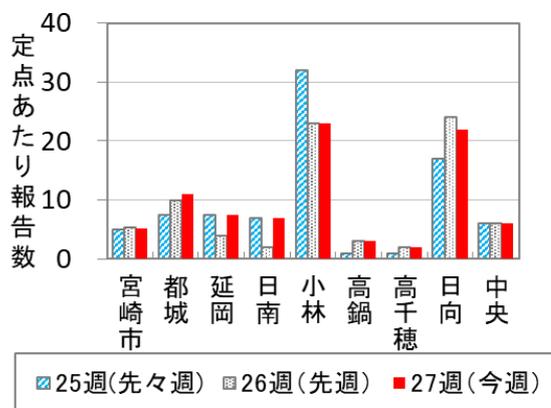


### 感染性胃腸炎 発生状況

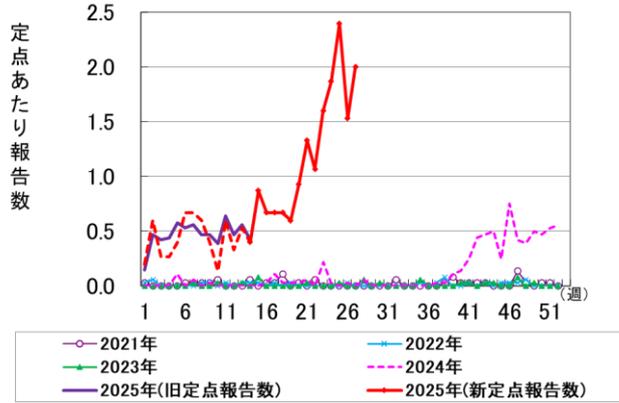


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、  
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

### 感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



伝染性紅斑 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、  
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.3)で、宮崎市(1例)、高鍋(1例)保健所から報告があった。年齢は0～4歳が1例、10～14歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

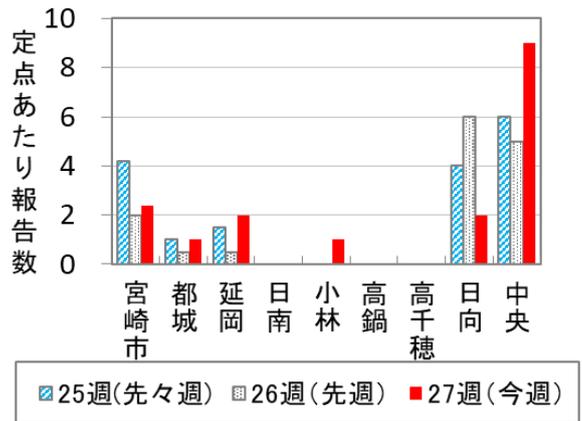
保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(2.4)
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(23.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(22.0)、伝染性紅斑(2.0)
中央	伝染性紅斑(9.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第26週:6月23日～6月29日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		0	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	1	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		0	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		6	
受付検体数		7	

○急性呼吸器感染症(ARI)※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 7 月 7 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Typhimurium (O4:1,2:i)	10歳代	男	2025.06.04	発熱、腹痛、下痢	便	2025.06.12
Salmonella Typhimurium (variant) (O4:i:-)	0～4歳	男	2025.06.12	発熱、腹痛、下痢、血便	便	2025.06.20
EHEC (O157:HNM, VT1,2)	5～9歳	男	2025.06.27	腹痛、下痢、血便	便	2025.07.02

○男児から腸管出血性大腸菌(EHEC O157:HNM, VT1, 2)が検出された。EHEC 感染症は、Vero 毒素(VT)を産生、または VT 遺伝子を保有する EHEC の感染によって起こり、主な症状は腹痛、下痢及び血便である。嘔吐や 38℃台の発熱を伴うこともある。VT 等の作用により血小板減少、溶血性貧血、急性腎障害を来して溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし、脳症などを併発して死に至ることがある(IASR Vol.44 No.5 (2023.5))。一般に初夏から晩秋にかけて多発することから、今後の発生動向に注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human herpes virus 6	5～9歳	男	2025.05.16	手足口病疑い 口内炎	咽頭ぬぐい液	2025.06.24
Parvovirus B19	5～9歳	女	2025.05.30	ウイルス性発疹、咽頭痛、紅斑、帽針頭大発疹	全血	2025.06.26
Parvovirus B19	20歳代	女	2025.05.30	ウイルス性発疹、咽頭痛、関節痛、紅斑、帽針頭大発疹	尿 全血	2025.06.26
Norovirus GII.4[P16]	0～4歳	女	2025.06.06	感染性胃腸炎、下痢、嘔気、嘔吐	便	2025.06.27

📊 全国 2025 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	251 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	80 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	2 例	エキノコックス症	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	11 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	5 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	21 例	ブルセラ症	1 例
	マラリア	1 例	ライム病	1 例	類鼻疽	1 例
	レジオネラ症	89 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	34 例	水痘(入院例)	14 例	梅毒	212 例
	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	3353 例	風しん	2 例	麻しん	8 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、水痘、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 97%とほぼ横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,974 人(2.5)であった。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.7)の約 0.9 倍であった。栃木県(5.6)、埼玉県(4.7)、愛媛県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 5,020 人(2.1)であった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.6)の約 3.8 倍であった。山形県(5.5)、群馬県(5.2)、栃木県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41 定点医療機関)

2025年 第27週 (06月30日～07月06日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	9	8								1
	定点当り	0.14	0.32	0.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	52	55	19	5	3	5	3	6	9	1	4
	定点当り	1.86	1.96	2.11	1.25	1.00	2.50	1.50	3.00	4.50	0.50	2.00
RSウイルス感染症	報告数	3	3	1							2	
	定点当り	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	14	10	5	4				1			
	定点当り	0.93	0.67	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	50	31	2	4	3	2	1	4	3	
	定点当り	3.73	3.33	6.20	1.00	2.00	3.00	2.00	1.00	4.00	3.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	115	126	26	22	15	7	23	3	2	22	6
	定点当り	7.67	8.40	5.20	11.00	7.50	7.00	23.00	3.00	2.00	22.00	6.00
水痘	報告数	11	1			1						
	定点当り	0.73	0.07	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1	9	4		1						4
	定点当り	0.07	0.60	0.80	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	23	30	12	2	4		1			2	9
	定点当り	1.53	2.00	2.40	1.00	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00	9.00
突発性発しん	報告数	9	4	2	1	1						
	定点当り	0.60	0.27	0.40	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	32	37	21	5	5		2				4
	定点当り	2.13	2.47	4.20	2.50	2.50	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3	2								1
	定点当り	0.07	0.20	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	3	2		1						
	定点当り	0.50	0.50	0.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	2	1					1			
	定点当り	0.29	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第26週 (06月23日～06月29日)

		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1235	1172	349	109	136	89	151	66	74	134	64
	定点当り	44.11	41.86	38.78	27.25	45.33	44.50	75.50	33.00	37.00	67.00	32.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～27週 保健所受理分)

2類感染症	結核	61例(1)	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(1)	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎 1例 重症熱性血小板減少症候群 2例
	つつが虫病	8例	デング熱 1例 日本紅斑熱 13例
	レジオネラ症	4例(1)	
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎 1例 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1例(1)
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 9例 後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症 17例 水痘(入院例) 2例
	梅毒	77例(6)	播種性クリプトコックス症 1例 破傷風 1例
	百日咳	1,118例(41)	

( )内は今週届出分、再掲